



林 明敏議員
(市民クラブ)

市民病院

問 市民病院建設計画の状況について伺う。

答 「病院事務局長」 来年度予算には用地取得に関する予算と、基本設計に関する予算を計上していきたいと考えている。

問 借地に建設する場合、財源的な措置があるのか。

答 「病院事務局長」 借地の場合には、充当できる国庫補助金や起債のよくな特定財源はないため、一般財源を充当していくことになる。

問 地元説明会は行つたのか。

答 「病院事務局長」 地元や地権者への説明会は重要であり、実施していきたいと考えている。

防災

問 県において建設予定の家畜保健衛生所に防災施設を含めた形での建設を要望しているが、その後の経過を伺う。

答 「産業振興課長」 新設する施設については、津波対策として外階段から4階屋上に避難場所として提供できる

避難スペースを設けているとのことである。

通学路

問 子どもたちの通学路の安全確保について、通学路の点検の状況と対応について伺う。

答 「教育長」 本年度8月に通学路合同点検を実施後、11月に通学路安全推進会議を開催し、新たに12か所の危険箇所を選定した。選定後7か所の対策を済ませ、残り5か所は来年度中に対策予定である。

産業振興

問 成田空港第3滑走路、銚子連絡道路圏央道も開通する予定であり、またとなないチャンスだと思つ。産業用地候補地検討調査業務の進捗状況について伺う。

答 「市長」 本年度は候補地選定等を行うこととし、現在、市内6か所の候補地案が示され、比較検討等を行っているところである。本年度内に、地権者など地域住民に意見等を伺いたいと考えている。

施設使用

問 八日市場ドームやのさかアリーナの収容については、定員の50%に制限しているが、緩和してはどうか。

答 「教育長」 国や県のガイドラインにおいて、大声での歓声、声援等がないことを前提とするイベントの場合は、収容率上限100%での開催も可能としていることから、12月10日に施設定員の制限を解除したところである。

子育て支援



都祭広一議員
(創 真の会)

問 基礎自治体の子育て支援とは、

その自治体の看板政策であり、匝瑳市が特に遅れている病児、病後児保育の取組について、子育てをする保護者からは、早急な取組が求められており、民間事業者からも実施計画が示されている。一日でも早い支援体制の構築に向けて、今後の取組を伺う。

答 「市長」 何よりも子育てしやすい環境を整えるということが、これからの匝瑳市にとっては重要なことである。スピード感を持って対応するよう担当課にも指示をし、関係事業者ともさらに協議を進めて、しっかりとその実施予定時期に実施できるように進めていきたい。

問 令和3年9月に、医療的ケア児

及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、各自治体において医療的ケア児を支援する事業を進めていくことが義務づけをされた。しかし、具体的な施策の実現は自治体の取組次第となる。重い障害を持つ子どもたちの居場所確保や家族の思いを受け止めていただき、今後の体制整備について伺う。

答 「市長」 本市では、重度心身障害児が放課後や夏休みなどの長期休業中に利用することができる放課後等デイサービス事業所が4か所設置されており、医療的ケア児に対して適切な支援を受けられるよう、関係機関と医療的ケア児等支援協議会を設置し、コーデイネーターの配置など、支援のための情報共有を行っている。今後も引き続き関係機関と連携しながら、重度心身障害児、医療的ケア児に係る支援体制の充実に努めていく。

答 「教育長」 保護者からの思いを受け止め、市内小学校の児童に医療的ケアを行う看護師の配置等を次年度春からスタートさせるつもりで、鋭意取り組んでいる。

雇用・定住

問 国の地方移住支援金制度(最大100万円)について、匝瑳市も該当地域となっているが実施されていない。しっかりとやって頂きたいが、制度を把握しているか。

答 「企画課まちづくり戦略室長」 この制度は、都道府県と市町村との共同事業として実施する必要があり調査・研究していきたい。

